

授業科目	事例研究（人権思想・社会福祉史） Case Study (Thoughts on Human Rights and Social Welfare History)		担当教員	大島 啓			
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
本講義は社会福祉領域における人権思想について、個別のテーマに応じた事例の検討を行うが、その過程において思想的背景からの社会福祉の歴史を知る必要がある。したがって、本講義では社会福祉史と人権思想史を概観することで、当該領域の専門的深化を求めていく。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	人権思想および社会福祉の歴史について専門的知識を身につけることができる。			講義内における発表		10%	
思考・判断	レポートを通じて、専門書を購読し、分析力を身につけることができる。			課題レポート（学期末）		50%	
技能・表現	分析によって得られた知識を基にした社会福祉観を述べる ことができる。			課題レポート（随時）		30%	
知識・理解	文献を基にしてプレゼンテーションができる。			講義内における発表		10%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
学期末の課題レポート（50%）、随時のレポート（30%）や講義内における発表（20%）等から、総合的に評価する。							
授業の概要							
<p>社会福祉発達史の観点からは、福祉がどのように進められてきたのかを講義し、その講義内容を歴史的に把握できるように指導していく。</p> <p>人権・社会思想の観点からは、社会保障を中核とする福祉国家・福祉社会の「制度」と「理念」はどうあり、どうあるべきかについて、ロールズ、セン、ドゥオーキン、ノージック、ハイエクなどの規範理論の対立的構図を押さえながら、福祉国家システム像の再構築を試みる。</p>							
教科書・参考書							
教科書・参考書：必要に応じ随時、資料の配布や文献等を紹介する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業以外において、社会福祉は制度として数多く存在しているが、その制度の歴史について文献等を通じて理解するようにしてほしい。また福祉領域の諸問題を、人権思想や社会のあるべき姿から考察する習慣をつけてほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	社会福祉の歴史①	市民権の確立と福祉国家の成立を、国民国家の成立と市民権、福祉国家の成立という観点から概観する。	T.H.マーシャルのシティズンシップ論について、文献等を通じて調べる。
2	社会福祉の歴史②	近代化と福祉政策の関係を、近代以前の救済や近代以降の救済制度、慈善事業、社会事業との関連から探る。	社会事業の形成過程に関して、文献等を通じて調べる。
3	社会福祉の歴史③	戦後改革と高度経済成長期の福祉政策を、戦後社会福祉の成立や「貧困の再発見」、「福祉元年」に向けた動きのなかに位置づける。	「貧困の再発見」や「福祉元年」に関して、文献等を通じて調べる。
4	社会福祉の歴史④	少子高齢化時代の福祉政策を、1970～80年代の福祉政策の背景と展開という観点から理解する。	日本型福祉システムに関して、文献等を通じて調べる。
5	社会福祉の歴史⑤	少子高齢化時代の福祉政策を、1990～2000年代の福祉政策の背景と展開という観点から理解する。	「構造改革」論の特徴に関して、文献等を通じて調べる。
6	社会保障と公共哲学	社会保障論を今日の公共哲学の観点から考察する。	社会保障の哲学的基礎に関して、文献等を通じて調べる。
7	福祉国家の方法論争	福祉国家を経済学と倫理学の思想的接点として考える。	福祉国家論の歴史に関して、文献等を通じて調べる。
8	ロールズの正義論	福祉国家をロールズの正義論の観点から考察する。	ロールズの正義論に関して、文献等を通じて調べる。
9	センの潜在能力アプローチ	福祉国家をセンの潜在能力アプローチの観点から考察する。	センの潜在能力アプローチに関して、文献等を通じて調べる。
10	ハイエクと社会福祉	社会福祉をハイエクの自由や法の理論から考察する。	ハイエクの理論に関して、文献等を通じて調べる。
11	リバタリアンと福祉国家	リバタリアンが福祉国家を批判する論拠について検討する。	リバタリアンの主張に関して、文献等を通じて調べる。
12	分配論	分配論の構図について、「分けること」「分かたれないもの」「さらに言えること」の観点から考察する。	分配論の代表的議論に関して、文献等を通じて調べる。
13	福祉と平等	平等主義批判の観点から、福祉にとって平等をいかに考えるかについて、考察を巡らせる。	平等論の代表的議論に関して、文献等を通じて調べる。
14	福祉国家の改革原理	福祉国家の改革原理を、「生産主義から脱生産主義へ」のラインに沿って考える。	脱生産主義の代表的議論に関して、文献等を通じて調べる。
15	福祉国家の新しい対立軸	福祉国家再編の新しい対立軸を、就労・福祉・ワークフェアの観点から考察する。	福祉国家論の新しいトピックに関して、文献等を通じて調べる。